

人類働態学会 20期 第5回理事会

日時：2009年6月13日（金） 11:00～12:30

場所：日本女子体育大学大学院棟

出席：岩田浩子、榎原 毅、植竹照雄、大箸純也、片岡洵子、河原雅典、岸田孝弥、小木和孝、酒井一博、竹内由利子、城 憲秀、中田英雄、橋本修左、長谷川徹也、平野和彦、堀野定雄、真家和生、松田文子、水野基樹、水野有希、森みどり、山岡俊樹、山田有佳倫

配布資料： 資料1 20期第5回理事会次第

資料2 学会の新規委員会（次世代を考える委員会）について

●議事次第

1) 45回大会

- ・日程は2010年6月12,13日に、中京大学で開催予定。大会長は岸田理事で、実行委員として城理事と榎原理事に協力してもらう。
- ・夏季研究会の開催は検討中。日程は追って相談する予定。

2) 総会資料、進行、役割分担

- ・2008年度活動報告および2009年度活動計画の報告者の分担と報告内容を確認した。

3) 2008年度決算と2009年度予算

- ・2009年度予算の項目で、IEA分担金は会費収入の3%となり、9万（2008年度3万7千円、2009年度3万8千円、送金手数料）に修正する。
- ・支出の構成を見直しを行い、会報のPDF化、学会の負担金の修正など、今後の検討事項とする。

4) その他

- ・バス車内事故について（堀野理事から）
6月4日のフジTVの番組でバス事故を取り上げられ、働態学会の研究報告がベースになっていた。
- ・働態研究の方法について（小木理事から）
働態研究の方法は、原稿を100編にし「働態方法100話」（仮）として刊行したい。刊行を延期しないことを原則にして、残りの8編（中田、堀野、山岡、河原、酒井、長谷川、植竹、森）を6月25日までに集める。
- ・雑誌について（山岡理事から）
雑誌の国際サイズはA4版になっている。変更は可能だが、ボリュームの問題や予算は変わるため、変更するのであれば、次年度からにしたい。
- ・理事会の新委員会について（酒井副会長から）
若い学会員の活躍の場を作るため、若手を中心（50代以下）に次世代を考える委員会を立ち上げる。

次回の理事会は、後日連絡

以上